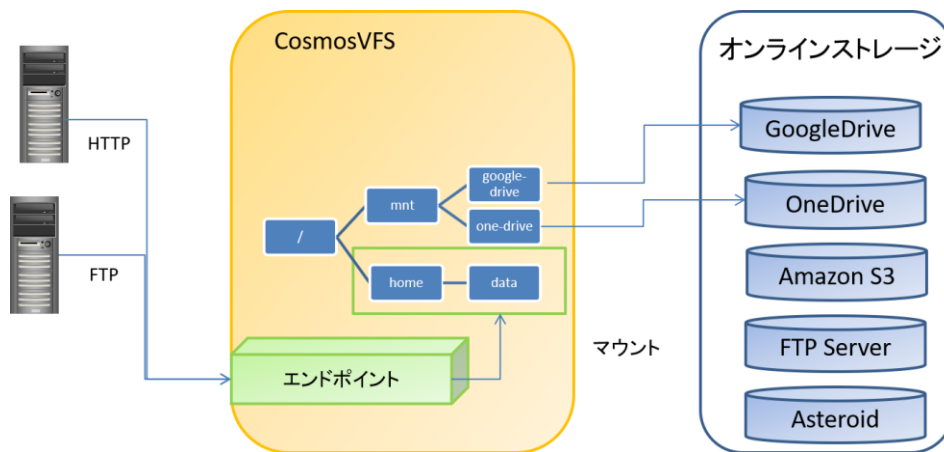


CosmosVFS マニュアル

1. はじめに

1.1 CosmoVFS について



CosmosVFS の全体像

CosmosVFS はオンラインストレージサービスの抽象化レイヤです。CosmosVFS は、複数のオンラインストレージサービスを統合し、単一のファイルツリーを仮想的に構築することができます。また、構築した仮想ファイルツリーの部分木を取り出して、HTTP や FTP で再配信することができます。

CosmosVFS は以下の URL で公開しています。

[CosmosVFS の URL]

<http://www.loxsols.com/pukiwiki/index.php?CosmosVFS>

2. CosmosVFS の使い方

2.1 ログイン

CosmosVFS へのログインは Google アカウントを用いて行います。下記の画面の指示に従って、Google アカウントと CosmosVFS の紐付けを行ってください。

[URL]

<http://www.cosmos-vfs.com/tomcat/cosmos/fileservice/googlelogin/GoogleLoginTop>

2.2 ストレージのマウント

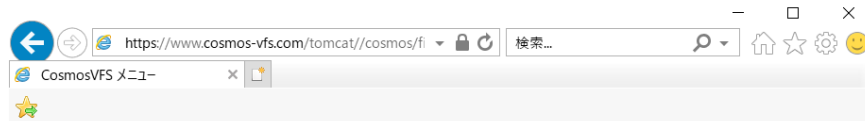
CosmosVFS にストレージをマウントして仮想的なファイルツリーを構成するには、以下の手順を実行してください。

CosmosVFS のログイン後のメインページから、「メニュー」を選択。



CosmosVFS のメインページ

メニュー画面で「ストレージを追加」を選択。



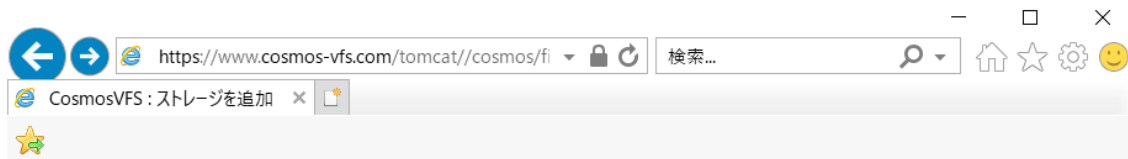
CosmosVFS メニュー

[ストレージを追加](#)
[ストレージのマウントを解除](#)
[エンドポイントを追加](#)
[エンドポイントの一覧](#)
[サブシステムの一覧](#)
[ユーザーローグ一覧](#)
[アカウント](#)

[ルートディレクトリ\(\)へ移動](#)

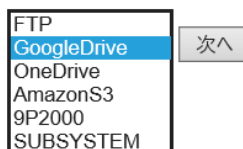
メニュー画面

「ストレージを追加」画面にて、追加するストレージの種類を選択します。今回は GoogleDrive を用いて説明します。



CosmosVFS

ストレージを追加 : 追加するストレージタイプを選択

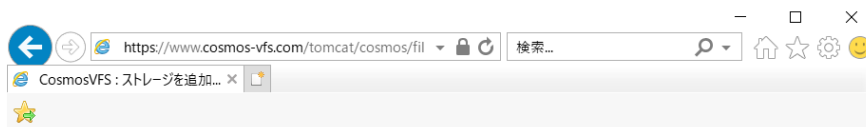


ストレージの選択画面

Google 側のサーバーに遷移して、使用する GoogleDrive に紐付いたアカウントを選択する画面が表示されます。CosmosVFS と紐づけたい Google ドライブのアカウントを選択してください。

マウントポイントの選択画面では、マウントポイントの設定を行います。マウントポイントは、仮想的なファイルツリーのどこにストレージをマウントするかを示すパス文字列です。

今回は初期ディレクトリとして用意されている「/mnt/google-drive」を使用します。



CosmosVFS

追加するGoogleDriveの設定

マウントポイント:

GoogleDrive認証コード:

マウントポイントの設定画面

NOTE

初期ディレクトリとして用意されていないディレクトリを、マウントポイントを使用することもできます。

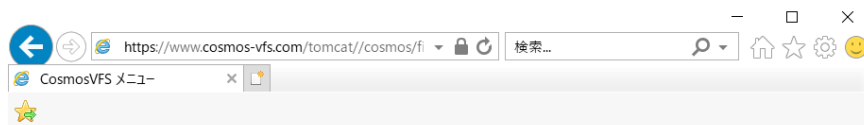
後述するエンドポイントの追加作業を行ってから、`/mnt` ディレクトリの配下に **FTP** クライアントからディレクトリを作成してください。

2.3 エンドポイントの作成

CosmosVFS の仮想ファイルツリーの全部、もしくは一部(部分木)を **FTP** や **HTTP** で外部に公開することが出来ます。

今回は、**FTP** エンドポイントを作成して、**Google Drive** 内のファイルを配信することにします。

CosmosVFS のメニュー画面を開き、「エンドポイントを追加」を選択します。



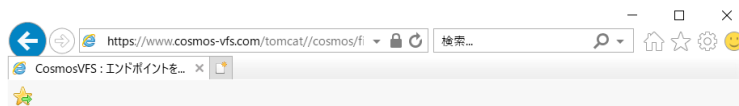
CosmosVFS メニュー

[ストレージを追加](#)
[ストレージのマウントを解除](#)
[エンドポイントを追加](#)
[エンドポイントの一覧](#)
[サブシステムの一覧](#)
[ユーザーローグー覧](#)
[アカウント](#)

[ルートディレクトリ\(\)へ移動](#)

CosmosVFS のメニュー画面

追加するエンドポイントを選択する画面に遷移しますので、「FTP」を選択してください。



Webifi

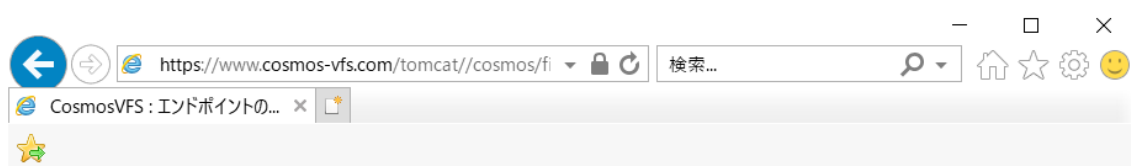
エンドポイントを追加: 追加するエンドポイントタイプを選択

HTTP
 FTP

追加するエンドポイントを選択画面

ドキュメントルートや FTP ユーザー名、FTP パスワードを指定する画面が表示さ

れます。



CosmosVFS

追加するFTPエンドポイントの設定

ドキュメントルート:	<input type="text" value="/mnt/google-drive"/>
FTPユーザー:	<input type="text" value="example-user"/>
FTPパスワード:	<input type="text" value="example-password"/>
	<input type="button" value="次へ"/>

追加する FTP エンドポイントの設定画面

ドキュメントルートには先ほどマウントした **Google Drive** のマウントポイントを指定します。

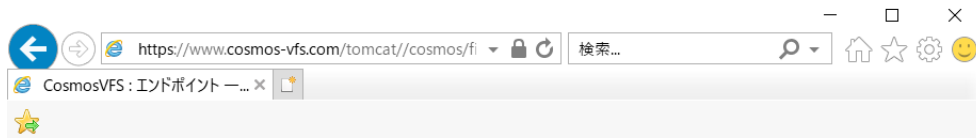
FTP ユーザーには適当なユーザー名を指定してください。なお、ユーザー名は **CosmosVFS** のシステム内で一意な名称にする必要があります。

FTP パスワードには適当なパスワードを設定してください。なお、空文字は指定できません。

「次へ」ボタンを押すと、確認画面が表示されますので、指示に従って進めてください。

設定が完了したエンドポイントの情報は以下の画面で見ることが出来ます。

「メニュー/エンドポイントの一覧」を選択してください。



CosmosVFS

操作するエンドポイントを選択してください。

エンドポイントタイプドキュメントルート	エンドポイントアドレス
FTP	/mnt/google-drive ftp://www.cosmos-vfs.com:10021 <input type="button" value="削除"/>

[メニューへ戻る](#)

エンドポイントの一覧画面

エンドポイントの一覧画面ではエンドポイントのアドレスを閲覧することが出来ます。また、作成したエンドポイントを削除することもできます。

3. サブシステムについて

サブシステムは、CosmosVFS から接続可能な独自のストレージサービスです。

サブシステムを利用するには、「サブシステムの有効化」作業を行ってから、サブシステムをマウントする必要があります。

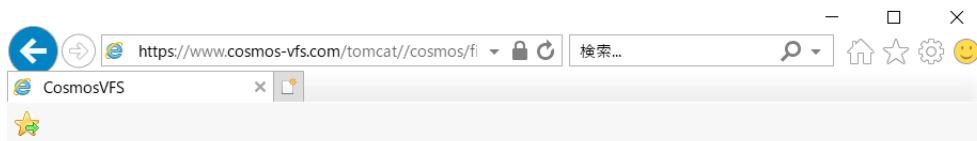
ここでは、Asteroid サブシステムを例にマウントまでを行います。

3.1 サブシステムの有効化



メニュー画面

メニュー画面から「サブシステムの一覧」を選択してください。



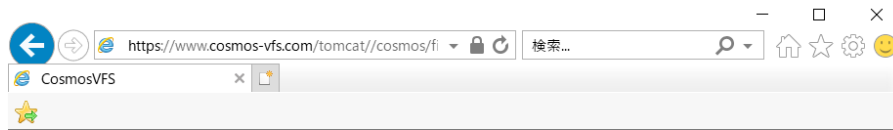
サブシステム一覧

サブシステム 有効 無効 状態
Asteroid [有効化](#) [無効化](#) 有効

[メニューへ戻る](#)

サブシステムの一覧画面

サブシステムの一覧画面で、Asteorid の行の「有効化」を選択してください。



サブシステム情報入力(Asteroid)

サブシステム名 Asteroid

ユーザー名

パスワード

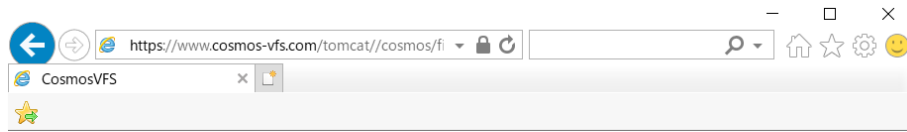
examplepassword x

次へ

サブシステム情報入力(Asteroid)

ユーザー名は、Google アカウント固定です。

パスワードには『アルファベットまたは数字のみで構成された任意の文字列』を設定してください。例)examplepassword



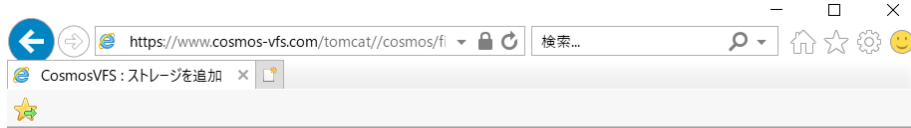
サブシステム情報確認

サブシステム名> Asteroid
サブシステムのユーザー名 [redacted]
サブシステムのパスワード examplepassword
有効/無効 有効化

サブシステム情報確認画面

サブシステム情報確認画面の内容に問題がなければ、「次へ」ボタンを押してください。

3.2 サブシステムのマウント

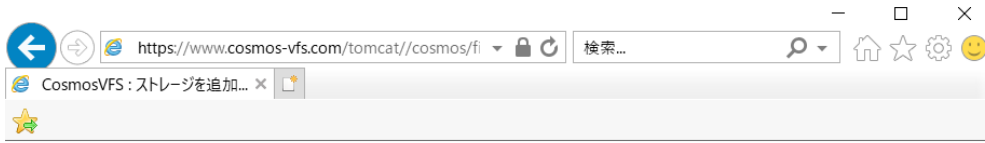


CosmosVFS

ストレージを追加 : 追加するストレージタイプを選択

SUBSYSTEM ▼ 次へ

ストレージの追加画面



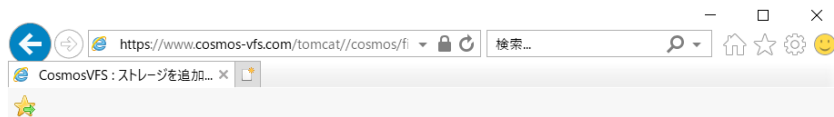
CosmosVFS

追加するサブシステムの設定

マウントポイント:

サブシステム名:

サブシステムの追加画面

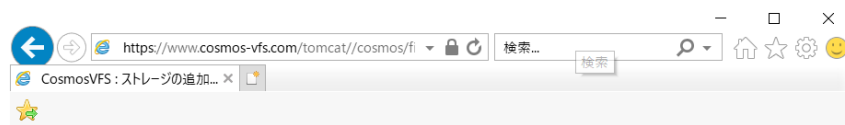


CosmosVFS

下記の内容でストレージを追加します。
よろしければ登録を押してください。

ストレージタイプ: SUBSYSTEM
マウントポイント: /mnt/asteroid
サブシステム名: Asteroid

ストレージの追加の確認画面



CosmosVFS

ストレージの追加が完了しました。

マウントポイント : /mnt/asteroid

[メニューへ戻る](#)

ストレージの追加完了画面

4. 備考

4.1 制限事項

CosmosVFS には以下の制限があります。

4.1.1 FTP クライアント

FTP エンドポイントの検証に用いた FTP クライアントは FFFTP です。それ以外の FTP クライアントでは基本的に検証していません。

特に「list -a」などの独自コマンドを送信する FTP クライアントは動作しません。

4.1.2 HTTP セッション

CosmosVFS の Web 画面におけるセッションは短時間で切れるように設計しています。以下のようなエラーメッセージが表示されたら、ログイン画面からやり直してください。

「登録されているファイルサービスが見つかりませんでした。」

